

にし阿波中山間地域農業を支える農業者の育成

目的

地域農業の担い手を育成するため、露地野菜を中心とした新たな経営モデルの確立および体系的な支援体制を整えることで、新規就農者の経営安定、規模拡大を支援する。

現状・課題

【生産環境】

- ・基盤整備が進んでおらず、水稻中心の経営が困難

【人材面】

- ・露地野菜を組合わせた経営体が規模拡大
- ・露地野菜中心の経営を志向する新規就農者も増えている

【支援体制】

- ・体系的な支援体制が整っていない
- ・もうかる複合経営モデルがない

課題解決に向けて

【重点指導対象】

- ・露地野菜中心の経営を志向する新規就農者

【経営モデルの作成】

- ・管内優良経営体調査
- ・優良経営体を基に複合経営モデルの作成
(夏秋：トマトorナス+冬春：なのはな、ブロッコリー、豆類等)

【規模拡大・経営モデル実践支援】

- ・露地野菜経営体のグループ化
新規就農者同士の意見交換、先輩農家のアドバイス、県内外優良経営体視察等
- ・「三好地域新規就農者支援協議会（市町、JA、農業委員会、県）」による支援強化
巡回指導、展示ほ等による栽培支援（JA、支援）
効率化につながる農地の情報提供（市町、農業委員会）

【新規就農者の状況】

新規就農者	栽培品目
①三好市 40歳代	夏秋トマト、さつまいも（干し芋）
②東みよし町 40歳代	なのはな、ブロッコリー、サニーレタス、オクラ、スイートコーン、実えんどう 等
③東みよし町 20歳代	なのはな、ブロッコリー 等
④三好市 10歳代	促成いちご、夏秋いちご
⑤三好市 40歳代	きゅうり、とうもろこし、ミニトマト、マクワウリ、なのはな、白菜 等
⑥東みよし町 40歳代	アボカド
⑦東みよし町 20歳代	実えんどう、ブロッコリー、サニーレタス、なのはな、オクラ、ピーマン
⑧東みよし町 40歳代	トマト、ネギ、ニラ、チンゲン菜、キヌサヤエンドウ 等

目指すべき姿

- ・新規就農者が不安なく就農、営農ができている
- ・積極的な規模拡大に取り組んでいる
- ・中山間地域の農業を守る中心的担い手へと成長
- ・次代の参入者に栽培技術を伝承するサイクルが確立している

(3年後の成果目標)

○露地野菜経営体の育成

経営規模3ha以上 R6⇒R8 3経営体増

【経営モデルとなる管内優良農家事例】

	栽培品目	経営面積
①所得 700万円以上 三好市 30歳代	夏秋トマト、ブロッコリー、なのはな、きゅうり、白菜 等	7.3ha
②所得 500万円以上 東みよし町 40歳代	水稻、菜の花(100a)、トウモロコシ、ブロッコリー、サニーレタス、オクラ、キュウリ、グリーンピース、ナス	3.2ha